

あしきた

4月号



町内全世帯に配布しています

「健康ファイル」で健康づくり

2,000人を越えるランナーが駆け抜けた

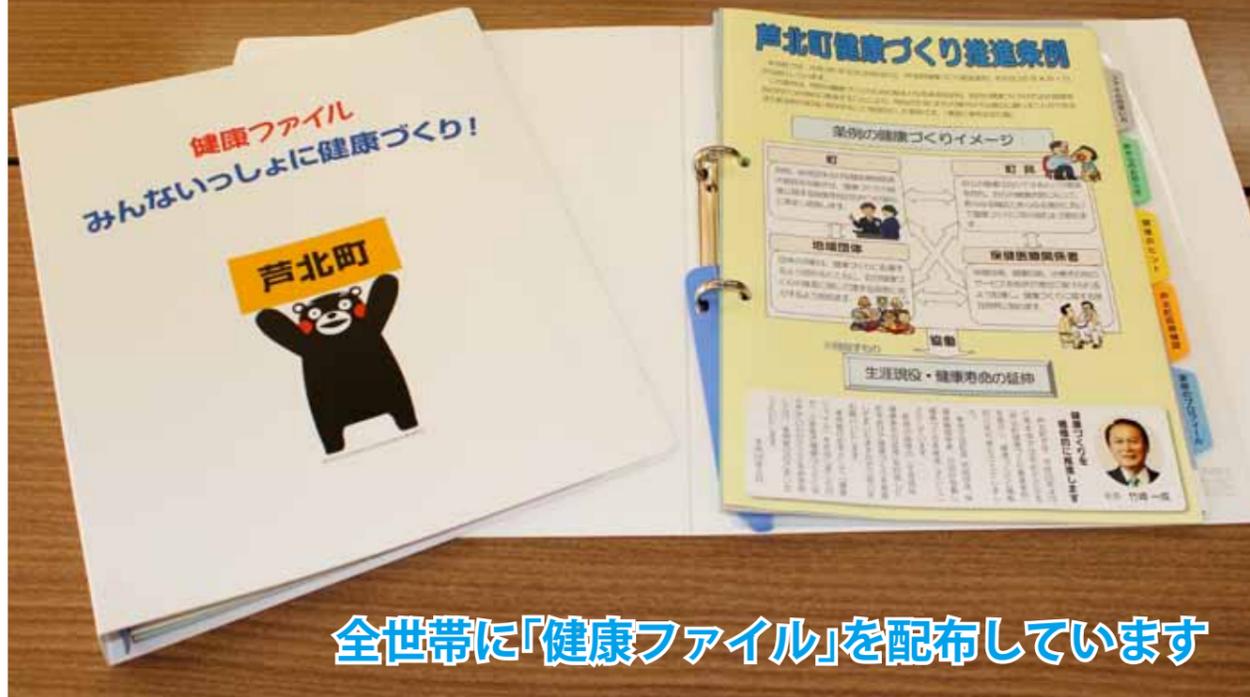
2014 芦北うたせマラソン大会

新年度予算がスタート

平成 26 年度当初予算

広報あしきたの紙面を一部リニューアル！

「健康ファイル」で健康づくり！



全世界に「健康ファイル」を配布しています

町では、平成25年4月から「健康づくり推進条例」を施行しました。この条例では、「町民、地域団体、保健医療関係者、行政が協働で健康づくりを推進していくこと」としており、町民の皆さんが生涯にわたり健やかで心豊かに暮らすことができる活力あるまちづくりを目指しています。このような条例が制定されたのは熊本県内では初めてです。

今回、条例施行記念として、「健康ファイル」を作製し、3月下旬に区長さんを通じて全世界帯に配布しました。

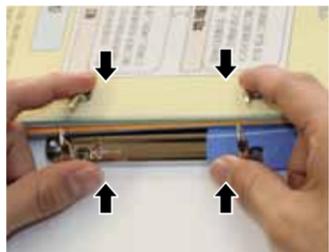
健康ファイルには、すでに

- ★正しいお医者さんのかかり方 薬とのつきあい方
- ★柔道整復師（整骨院・接骨院）のかかり方
- ★ライフスタイルを見直してメタボを防ごう！
- ★芦北町医療機関一覧
- ★町内予防接種実施医療機関一覧

がとじてあります。これらの他に、町から配布される各種健診の案内や国保だよりなどのほか、健診結果や新聞・雑誌の切り抜きなどを自由にとし、家族みんなの健康づくりにお役立てください。

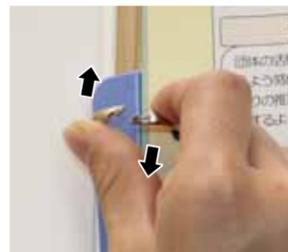
*問い合わせ先
住民生活課
健康づくり推進室 医療年金係
☎(82) 2511 (内線149)

とじるとき

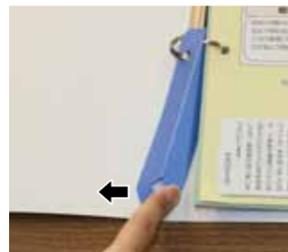


リングの外側をつまむように閉じる。

あけるとき



ひとつのリングを時計回りにひねる。



オープナーを左に押す。

とじ具の使い方

どちらの方法でもあけられます

広報あしきた 4月号

CONTENTS — もくじ —

- 3 「健康ファイル」で健康づくり
- 4 2014 芦北うたせマラソン
- 6 平成26年度当初予算
- 8 芦北町スポーツ賞・文化振興奨励賞
- 10 お知らせ
- 12 平成26年度 スポーツ・文化等行事予定
- 13 芦北町イベントカレンダー
- 14 警察署 / 消防署 / 自動車税納期限
- 15 人事異動（4月1日付け）
- 16 まちのわだい
- 18 芦北に残る文化遺産
/ 景さんのチョアチョア記
- 19 大野小カンボジア募金贈呈
・西日本国際財団アジアKids大賞受賞
/ すくすく育っています
- 20 消防団員435人が集結 芦北町消防点検
- 21 芦北町漁協が船出 / 村枝賢一さんイベント
- 22 子ども・子育て会議
芦北町産業祭 / グリーン農業フェア
- 23 書道・短歌 / 出生・おくやみ
- 24 湯浦温泉センター落成
/ 星野富弘美術館だより

今月の表紙



消防点検パレード

平成17年の合併後、初めて湯浦地区で行われた消防点検。消防団員435人と消防車両32台によるパレードが勇壮に行われました。

紙面を一部リニューアルしました

◎目次をこれまでの表紙から2ページ目に移し目的のページを探しやすくしました。

◎毎月の行事カレンダーの掲載を始めました。カレンダー掲載ページだけを抜き取って利用することができます。

今後もより便利で見やすい広報紙づくりを目指します。

広報紙への情報提供やご意見をお待ちしています。また、町内の地域づくり団体や文化・スポーツ団体などが行うイベント情報などのお知らせを掲載しませんか。

5月号原稿提出締切 4月25日（金）

5月号発行日 5月19日（月）

※内容や紙面の都合により掲載できないことがあります。

*問い合わせ先

総務課 秘書広報係

☎(82) 2511 (内線212)

人口のうごき

(H26.4.1 現在) () 内は前月比

人口	18,975人	(-102)
男	8,902人	(-47)
女	10,073人	(-55)
65歳以上	7,191人	(+9)
世帯数	7,493世帯	(-11)

①約900人のランナーが一斉にスタート(ハーフ)②デコポンくんとヒットくんも応援に駆けつけました③④⑤爽やかな潮風の中を走るランナー⑥選手宣誓する岩永4兄弟(本町)⑦法被姿で駆け抜けました⑧3キロの部のスタート⑨ハーフの部を大会新記録で優勝した球磨村の公務員ランナー地下翔太選手⑩司会の高崎恵理アナウンサー⑪肥後銀行佐敷支店では当日の写真を展示してありました



8



6



3



1



10



9



7



4



11



5



2

ボランティアが支える大会運営

この大会の成功の裏側には、大会を支える多くのボランティアの存在があります。今回は、エビ飯づくりやランナーへの給水などに延べ200人のボランティアが参加しました。

エビ飯づくりには、観光うたせ船組合や芦北町食生活改善推進員連絡協議会メンバーなど延べ120人が、前日の洗米、仕込み作業と当日早朝5時からのパッキング作業にあたり、約2500食(米400キロ分)のエビ飯をまかないました。

ランナーへの給水には、商工会、民生児童委員協議会のほか、計石地区住民や女島開発委員会など70人が参加し、4カ所の給水所で活躍しました。



▶大会前日のエビ飯の準備



▲ランナーに笑顔で給水

3月23日に開催された2014芦北うたせマラソン大会。2000人を超えるランナーが春の潮風を受けながら駆け抜けました。

2014 芦北うたせマラソン大会

記念すべき30回目の開催となった今大会はハーフマラソン、10キロ、5キロ、3キロの部に県内外から2114人がエントリー。穏やかな晴天に恵まれ、ランナーたちは海沿いの風光明媚な景色を楽しみながらゴールを目指しました。

レース後は、うたせマラソン名物のエビ飯に舌鼓を打ちながら、応援に来た家族や友人などと昼食を楽しむ姿が見られました。

表彰式では男女年代別の上位入賞者のほか、遠来賞や最高齢者、30回出場者などへの表彰が行われました。最後に観光うたせ船貸切招待券などが当たるお楽しみ抽選会もあり、会場は最後まで盛り上がりました。

平成26年度当初予算 総額 166億5,408万円

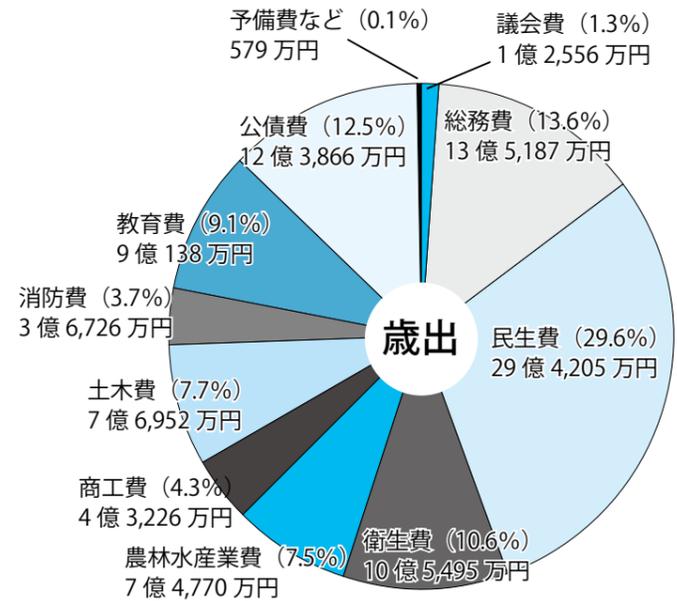
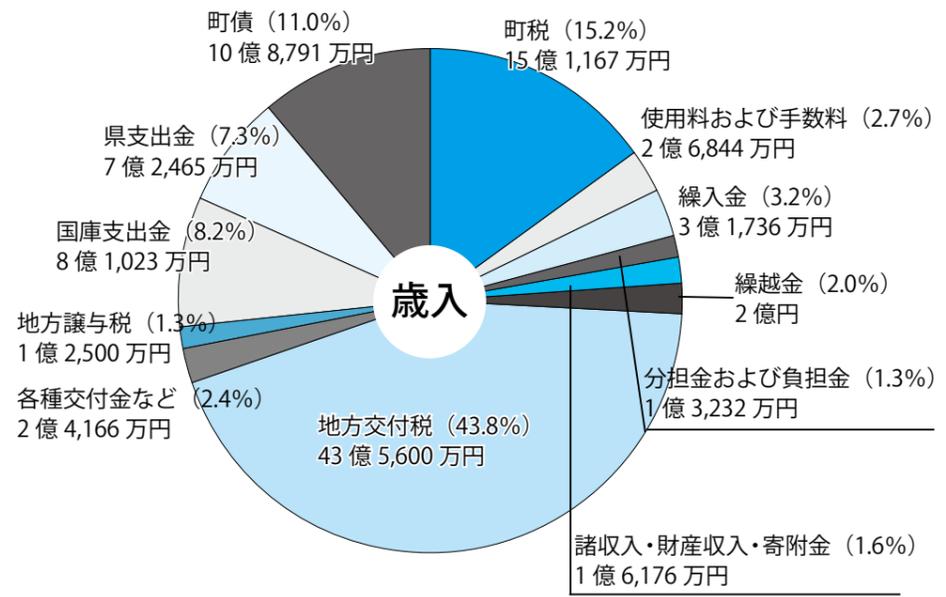
4月1日から新年度予算がスタートしました。町にはどのような財源があり、どのように使われるかを説明します。

一般会計

予算総額

99億3,700万円

一般会計とは、町の行政運営に必要な経費を計上した会計のことです。予算額は平成25年度と比較して3,900万円(0.4%)増しました。



※予算額の1万円未満の金額は四捨五入しています

項目	金額
町民1人当たりの歳出予算額は51万9,120円で1人当たりの税負担(7万8,971円)の約6.6倍の行政サービスが提供されています。	
※平成26年1月1日現在の人口1万9,142人で算定しています。	
議会経費や予備費など	6,862円
魅力的なまちづくりや効率的な行政経営	7万6,233円
高齢者・障害者・子育て	15万3,696円
ごみ処理や病気の予防	5万5,111円
農林水産業の振興	3万9,061円
商工業や観光の振興	2万2,582円
道路や河川の整備	4万2,011円
消防活動や防災	1万9,186円
小・中学校や図書館、生涯学習活動	4万7,089円
借入金の返済	6万4,709円

平成26年度当初予算 主な取り組み

魅力的な地域づくり

地域づくりの活動支援や人材育成などに取り組みます。

- まちづくり支援事業などで、地域の主体的活動をサポート

人にやさしい快適なまちづくり

安心・安全な生活環境づくりや福祉サービスの充実を図ります。

- 御立岬公園駅など公共施設に防犯カメラを設置
- 子どもの医療費は引き続き18歳まで無料
- 防火水槽や消防ポンプを整備
- 町民が元気で暮らせるまちづくりを推進

生きがいある働き場づくり

農林水産業や商工業、観光の振興を図ります。

- 移住・定住を促進するため空き家調査を実施
- 町内産木材を使った住宅の建築費用を助成し、木材利用を推進
- プレミアム付き商品券の発行補助金を拡大
- 引き続き小売業などの店舗整備を支援するほか、特産品開発補助金制度を新たに創設

豊かな心の人づくり

教育環境の整備をはじめ、文化・スポーツの振興、国際交流を推進します。

- 中高生を英国に派遣し国際的な人材を育成
- 小・中学校の普通教室にエアコンを設置
- 大野・内野小、幼稚園に防犯カメラを設置
- 全国大会出場者への助成など、文化・スポーツの振興を推進

生活を支える基盤づくり

暮らしやすい環境をつくるための道路整備や交通手段の確保、環境保全対策に取り組めます。

- 佐敷駅周辺の渋滞緩和と安全性確保のため、町道射場芦北線の改良を促進
- 路線バスの維持対策とともに4路線のふれあいツクールバスにより交通弱者の移動手段を確保

26年度予算のポイント

町民の安全・安心を守り 住みやすい芦北町をつくるために

平成26年度当初予算は『個性の光る活力あるまちづくり』を実現するため、「みんなが安全で安心して暮らせる環境づくり」を柱とした当初予算を編成しました。

行政コストの削減、効率化を図り、持続可能な財政運営を基本に町民の生活に直結する事業には、重点的かつ効果的に財源を投入するなど、積極的な事業を展開します。

特別会計（水道会計含む）

予算総額 67億1,708万円

会計名	26年度予算	前年度比
特別会計		
国民健康保険事業	35億7,050万円	3.2%
介護保険事業	20億8,270万円	△0.2%
簡易水道事業	7,320万円	△2.4%
農業集落排水事業	2億3,510万円	7.9%
生活排水処理事業	5,600万円	△0.5%
町有温泉事業	9,670万円	△20.3%
奨学資金貸付事業	3,170万円	3.3%
後期高齢者医療事業	2億6,580万円	0.9%
公営企業会計		
水道事業	3億538万円	24.1%
合計	67億1,708万円	2.4%

※予算額の1万円未満の金額は四捨五入しています

特別会計と水道事業会計（公営企業）の予算総額は平成25年度と比較して約1億6千万円増加しました。主な要因は国民健康保険事業の医療費増と水道事業の花岡浄水場送水ポンプ施設更新工事費の増によるものです。



▶スポーツ賞を受賞した皆さん

平成 25 年度スポーツ賞・文化振興奨励賞

平成 25 年にスポーツや文化活動で活躍した町民をたたえるため、3月22日、しろやまスカイドームで芦北町スポーツ賞・芦北町文化振興奨励賞の交付式が行われました。スポーツ賞は62人、文化振興奨励賞は17人が受賞。交付式では、竹崎町長が受賞者に盾

と奨励金を渡しました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)※カッコ内の住所、所属などは各大会での受賞時のものです。
(対象：平成25年1月1日～12月31日までの受賞者)

スポーツ賞

【金賞】(国際大会)
▼2013ホノルル国際空手道選手権大会 女子組手オープン 3位
金さくら(花岡西) 男子組手オープン 3位
坂田宏樹

【金賞】(全国大会)
▼全国高等学校総合体育大会カヌー競技 カヤックペア500m 優勝 藤井恵理奈(平生、水保高3年)
カヤックフォア500m 2位
竹下夢乃(計石東、水保高2年)
▼第13回全日本少年少女空手道選手権大会 4年女子個人組手 優勝
金つばさ(花岡西、佐敷小4年)
▼全国高等学校体育大会野球競技(硬式野球) 3位
岩崎将矢(本町、熊本高専八代キャンパス5年)
▼全国高等学校定時制通信制体育大会第44回剣道大会 個人戦 3位
福田大地(大野、水保高校定時制3年)
▼全国高等学校総合体育大会空手道競技 男子個人組手 5位
山本大悟(花岡西、芦北高3年)

【銀賞】(九州大会)

▼第28回九州小学生体操大会 団体演技 優勝
JKATレジャークラブA 岩永果大(本町、佐敷小6年)、大室裕慈(向町、佐敷小6年)、木下大雅(花岡東、佐敷小6年)、邑上颯(芦北、佐敷小6年)、米良睦希(本町、佐敷小6年)、岩永京大(本町、佐敷小4年)
3位
JKATレジャークラブB 今村亮介(本町、佐敷小6年)、川口大輔(花岡西、佐敷小6年)、立居場 涼(豊岡、内野小5年)、井上彩斗(計石西、佐敷小3年)、米良陽希(計石西、佐敷小3年)、木下直生(花岡東、佐敷小2年)
▼マスターズ甲子園2013九州予選大会(硬式野球) 優勝
八代東高校野球部OB 西田孝治(計石西)、福田竹春(計石東)、田辺嘉起(向町)、福田龍之介(計石東)
▼第39回全九州空手道選手権大会 団体組手 優勝
桑本裕一郎(桑原)
▼第30回全九州小学生バドミントン選手権大会 女子ダブルス 優勝
益田萌寧(田浦3、田浦小5年)
▼第8回九州小学生ゴルフトーナメント福岡大会 小学4～6年男子 優勝
間柄智詞(湯浦南、湯浦小6年)
▼九州高等専門学校体育大会サッカー競技 2位
岩本孝信(新町、熊本

← 左上へ

文化振興奨励賞

【金賞】(全国大会)
▼第64回日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技 優秀賞
後藤小菜美(花岡西、芦北高3年)

【銀賞】(九州大会)

▼第56回九州学校農業クラブ連盟発表大会 意見発表 最優秀賞
山内弦(湯浦南、芦北高3年)
▼ジュエライト ダンスコンテスト ストリートダンスU15 優勝
金紗里佳(湯浦南、湯浦中3年)、才荷紗也香(天月、大野中2年)
▼第68回九州合唱コンクール 銅賞
赤山直樹(田浦町3、水保高3年)、楠本海頼(小田浦4、水保高3年)、向田有香(湯浦南、水保高3年)、山内みなみ(古石南、水保高3年)、國武宗一朗(豊岡、水保高2年)、前島龍太郎(芦北、水保高2年)、田畑美奈(小田浦5、水保高1年)、川添和莉(白木、水保高1年)、嶋崎いくみ(湯浦北、水保高1年)、向野帆南美(湯南団地、水保高1年)、内山美優(湯浦北、水保高1年)

【銅賞】(県大会)

▼熊本県学校農業クラブ連盟農業情報処理大会 最優秀賞
松永由莉香(花岡西、芦北高3年)
▼全国そろばんコンクール熊本県大会 読上げ算 優勝
平野華英(湯浦北、湯浦中1年)

高専八代キャンパス3年) ▼九州中学校相撲競技大会 団体戦 2位
福田亮太(計石西、佐敷中3年) 橋本空大(宮浦、佐敷中2年) 松岡友希(花岡西、佐敷中2年) ▼マクドナルドカップ日本代表選抜大会九州予選大会(ゴルフ) 間柄両真(湯浦南、湯浦中2年) ▼全九州高等学校総合体育大会空手道競技 男子団体組手 3位
松本裕輔(花岡西、芦北高3年) 田村嵐(花岡西、芦北高2年) 才保佑一朗(天月、芦北高2年) 北原宏人(花岡西、芦北高2年) 宮本悠矢(花岡西、芦北高1年) ▼全九州高等学校バドミントン大会 団体戦 3位
向琴音(小田浦2、八代白百合高1年)

【銅賞】(県大会)

▼御立岬ビーチサッカー大会 2013 優勝
マシユケナーダ芦北宮崎裕樹(湯浦東)、野口卓也(小田浦6)、野口慶(田川)、鋤田晃平(湯南団地)、笠本尚志(大川内東)、小川宏達(小田浦5)、松崎佑輔(大岩1)、江口佑人(乙千屋)
▼熊本県中学生空手道選手権大会 女子団体組手 優勝
宮本彩加(花岡西、佐敷中3年)、山本真帆(花岡西、佐敷中2年)、橋本寧音(大

【特別賞(指導者)】

▼第13回全日本少年少女空手道選手権大会 4年女子個人組手 優勝
指導者 金辰信(花岡西)



▶文化振興奨励賞を受賞した皆さん

平成27年歌会始のお題

▼お題「本」
本の文字を使用していれば「ほん」「ぼん」「もと」などと読んでもかまいません。また、本を表す内容であれば、「本」の文字がなくても差し支えありません。

- ▼詠進要領
①お題を詠み込んだ自作の短歌で1人1首とし未発表のものに限ります。
②用紙は習字用の半紙を使い、毛筆で自書してください。半紙は横長に使い右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、職業を縦書きで書いてください。
③病気や身体障害のため毛筆で自書できないときは、点字、代筆、パソコンなどでも詠進できます。(自書できない理由を別紙に書いて添えてください) 詳しくは宮内庁ホームページをご覧ください。
▼締切 9月30日(火)(当日消印有効)
▼あて先 〒100-8111(住所不要) 宮内庁「詠進課」
*お問い合わせ先
宮内庁式部職あてに郵便番号、住所、氏名を書き返信用切手を貼った封筒を添え、9月20日(土)までに問い合わせください。

「芦北町ふるさとづくり基金運用事業」助成募集

町内で活動する団体や、今から継続的にまちづくりを続けていきたいと考えている人で、一定の条件を満たすと町の助成が受けられます。対象事業には、スポーツ・文化振興・国際交流・研修助成および地域間交流事業などがあります。

農業委員会からのお知らせ

農地の所有権変更や転用などの申請期限は毎月10日ごろです。
▼5月の申請期限 5月9日(金)
平成26年度 芦北町農業委員会総会開催日
4月25日(金) 10月27日(月)
5月26日(月) 11月25日(火)
6月25日(水) 12月25日(木)
7月25日(金) 1月26日(月)
8月25日(月) 2月25日(水)
9月25日(木) 3月25日(水)
会場：役場3階大会議室
*お問い合わせ先
芦北町農業委員会事務局
☎(82) 2511(内線261)

ミツバチに対する農業危害防止

ミツバチは、採蜜はもとより果樹類やイチゴなどの園芸作物の花粉交配に不可欠で、農業生産においても重要な役割を担っています。これらからかんきつ類の開花期を迎えますが、この時期の農薬散布に当たっては、次の3点に注意しましょう。

社会教育センター展示室

社会教育センターの展示室では自主講座による作品を展示しています。
▼展示作品「陶芸品」(陶友会)
▼期間 5月9日(金)～6月17日(火)
*お問い合わせ先
社会教育センター
☎(82) 2213

グローバルジュニアドリーム事業参加者募集

くまモンから青少年大使として任命してもらい、一緒に台湾に行きませんか?台湾で得た感動を、県民に報告してくれる小学5・6年生、中学生と小中学生をサポートしてくれる高校生を募集します。

- ▼日程 8月5日(火)～9日(土)(4泊5日)
▼内容 高雄市長表敬、現地の子どもたちと交流、県産品流通視察など
◎小学5・6年生、中学生対象
▼募集人数 25人
▼費用負担 4万2千円
※パスポート申請、保険、事前・事後学習会参加のための費用は自己負担
▼募集期間 4月21日(月)～5月29日(木)
◎高校生対象
▼募集人数 5人
▼費用負担 本研修に係る交通費、食費、宿泊費などは主催者が負担
※パスポート申請、事前・事後研修参加のための費用は自己負担
▼募集期間 4月21日(月)～5月12日(月)
※申し込みなどの詳細については熊本県ホームページをご覧ください。
*申込・問い合わせ先
熊本県 ぐらしの安全推進課
☎096(333)2294

つなぎ美術館展覧会

- 亀山のこの写真展
「この大きなゆりかごの中で」
▼期間 4月26日(土)～7月21日(月)
▼観覧料 一般 300円、高・大生200円、小・中生100円
▼場所 1階展示室
▼赤崎水曜日郵便局に届いた1500通「水曜日の消息」展
▼期間 4月26日(土)～7月13日(日)
▼観覧料 無料
▼場所 3階展示室
*問い合わせ先
つなぎ美術館
☎(61) 2222

みなまた環境塾第5期生募集

- みなまた環境塾では第5期生(平成26年6月～平成27年9月)を募集しています。
▼申込期限 5月18日(日)
▼申込方法 募集チラシにある申込書を利用ください。
【チラシ配布場所】
・役場1階・社会教育センター
※みなまた環境塾ホームページからダウンロードできます。
*申込・問い合わせ先
みなまた環境テクノセンター
☎(62) 0639

平成26年度水俣病犠牲者慰霊式

- 水俣病の犠牲になって亡くなられた全ての生命に慰霊の祈りを捧げ、環境再生・創造を誓い、生命・健康・環境の尊さを全世界に訴えていくために慰霊式を開催します。
▼日時 5月1日(木)(雨天決行)
午後1時30分～
▼場所 エコパーク水俣親水緑地「水俣病慰霊の碑」前
※会場まで送迎バスを運行します。
*問い合わせ先
水俣市環境モデル都市推進課
☎(61) 1612

危険物取扱者試験

- ▼試験の種類
・甲種・乙種(第1～6類)・丙種
▼試験日 6月8日(日)
▼試験場所 熊本市、八代市、天草市、玉名市
▼願書受付期間
書面申請 4月23日(水)まで
電子申請 4月20日(日)まで
*願書提出先・問い合わせ先
熊本市中央区九品寺1-11-4
県教育会館4階
(消防試験研究センター熊本県支部)
☎096(364)5005

イギリス(英国)で異文化を体験しよう

英国派遣事業参加者募集(中学生・高校生)



▲英国の町並み

- 芦北町と芦北町国際交流協会では、新しい価値観を創造する力を養い、国際感覚豊かな人材の育成を図ることを目的に、英国派遣事業の参加者を募集します。
▼日程 7月21日(月)～28日(日)
6泊8日(予定)
▼内容 英国の伝統、文化、歴史への理解を深めるとともに、異文化体験・交流を実施します。
①英国の子どもたちとの交流(交流会、野外活動など)
②英国生活体験(ホームステイ)
③英会話体験
④英国歴史文化体験学習(大英博物館、ロンドン塔、バッキンガム宮殿、エリザベスタワーなど)
▼派遣人数 8人程度
▼費用負担 旅行費用の4分の1(9万9千円程度)
※金額は変更になる場合があります。保険・パスポート取得費用など、個人にかかるものについては自己負担となります。
▼応募要件 芦北町在住の中学生および高校生でこれまでに本事業で派遣されたことのない心身ともに健康な人
※応募多数の場合は抽選
▼申込期限 5月9日(金)
▼応募方法
①町内学校通学者
各学校へお申し込みください。
②町外学校通学者
芦北町国際交流協会事務局に直接お申し込みください。
※申込用紙は、芦北町国際交流協会ホームページからダウンロードできます。
*申込・問い合わせ先
芦北町国際交流協会事務局(芦北町役場企画課内)
☎(82) 2511(内線252)



芦北町イベントカレンダー（4月～5月）

日	月	火	水	木	金	土
4月 20	21	22	23	24	25	26
町民講座開講式 (社教センター)		新米ババママ教室 (保健センター)	湯浦諏訪神社例大祭	でこぼんキッズ (保健センター)	農業委員会総会 (役場大会議室) 3～4カ月児健診 (保健センター)	
27	28	昭和の日 29	30	5月 1	2	憲法記念日 3
佐敷諏訪神社例大祭	九州高校相撲選手権 赤ちゃん土俵入り (佐敷諏訪神社)	県少年親善相撲大会 (佐敷諏訪神社)		水俣病犠牲者慰霊式 (エコパーク水俣) でこぼんキッズ (保健センター)	7～8カ月児健診 (保健センター)	
みどりの日 4	こどもの日 5	振り替え休日 6	7	8	9	10
				でこぼんキッズ (保健センター)	年金出張相談 (役場3階会議室) 英国派遣事業募集 締切	
11	12	13	14	15	16	17
		星野富弘美術館 「0.1の積み重ね展」 新米ババママ教室 (保健センター)		でこぼんキッズ (保健センター)	1歳6カ月児健診 (保健センター)	
18	19	20	21	22	23	24
	3～4カ月児健診 (保健センター) 新米ババママ教室 (保健センター)			でこぼんキッズ (保健センター)	1歳6カ月児検診 (保健センター) 町民体育祭 男女グ ラウンドゴルフ大会 (岩崎グラウンド)	御立岬ビーチサッ カーフェスティバル (御立岬海水浴場)
25	26	27	28	29	30	31
御立岬ビーチサッ カーフェスティバル (御立岬海水浴場)	農業委員会総会 (役場大会議室)					

田浦子育て支援センター 5月の行事

7日(水)～9日(金) 母の日プレゼント作り
 13日(火) お見知り遠足(日奈久公園)
 23日(金) クッキングをしよう(お好み焼き)
 27日(火) 身体測定・誕生会
 ※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。
 一時保育も行っています。
 ▶センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
 午前9時30分～正午 午後2時45分～5時15分
 *問い合わせ先 田浦子育て支援センター
 ☎(87)0034

*お問い合わせ先

芦北町役場 ☎(82)2511
 町教育委員会 ☎(87)1171
 星野富弘美術館 ☎(86)1600
 保健センター ☎(86)0200
 社会教育センター ☎(82)2213

平成26年度 スポーツ・文化等行事のご案内

月	日	曜日	事業内容	場所
4	20	日	町民講座開講式	社会教育センター
5	13	火	星野富弘美術館「0.1の積み重ね展」	星野富弘美術館
	23	金	町民体育祭 男・女グラウンド・ゴルフ大会	岩崎グラウンド
6	1	日	第42回水俣市・葦北郡各町対抗陸上競技大会 一日一汗運動	エコパーク水俣陸上競技場 各自治公民館
	15	日	町民体育祭 卓球大会	地域活性化センター
	22	日	町民体育祭 男・女バレーボール大会	町民総合センター・交流センター
	平日		平成生き生き大学開校式	各地区ごと
7	6	日	町民体育祭 バドミントン大会 町民体育祭 クレー射撃大会 町民体育祭 ボウリング大会	町民総合センター 湯浦温泉射撃場 芦北ボウル
	13	日	町民体育祭 ソフトボール大会(予備20日)	地域間交流スポーツグラウンド
	20	日	町民体育祭 男・女ゲートボール大会	田浦運動場
	24	木	童話発表会(町内小学校)	社会教育センター
	28	月	スポーツフェスタ(新体力テスト)	町民総合センター
	29	火	星野富弘美術館「命一式ありがとうございます～ 日野原重明と星野富弘～展」	星野富弘美術館
	3	日	町民体育祭 水泳大会	町営温泉プール
8	5	火	子ども体験学習(魚料理教室・海浜公園)	計石・鶴木山付近
	10	日	町民体育祭 軟式野球大会(予備17日)	地域間交流スポーツグラウンド・湯浦運動公園
	17	日	町民体育祭 ビーチボールバレー大会	町民総合センター
	20	水	子ども体験学習(メガソーラー見学・八竜天文台)	町内・八代市
	22	金	水俣・葦北地区人権教育研究大会	水俣市文化会館
	7	日	町民体育祭 ゴルフ大会	熊本クラウンゴルフ倶楽部
9	9	火	第17回佐敷城跡観月会	佐敷城跡
	20・21	土・日	第69回熊本県民体育祭	山鹿市
	27・28	土・日	国際火縄銃サミット	町民総合センター・御立岬公園海水浴場
10	12	日	町民体育祭 陸上競技大会(予備13日)	地域間交流スポーツグラウンド
11	1・2	土・日	文化祭(伝統芸能発表、文化協会発表、作品展示)	町民総合センター
	3	月(祝)	文化講演会	町民総合センター
	11	火	星野富弘美術館「未来を生きる君たちへ展」	星野富弘美術館
	20・21	木・金	各中学校対象・演奏家派遣事業	各中学校・町民総合センター
12	7	日	第44回芦北駅伝大会	佐敷中学校
1	11	日	第65回熊日三太郎駅伝競走大会 成人式	水俣市～芦北町 町民総合センター
	25	日	第32回熊日郡市対抗女子駅伝大会 第11回芦北町音楽祭	熊本市 町民総合センター
	8	日	第41回郡市対抗熊日駅伝大会	天草市～熊本市
2	10	火	星野富弘美術館「平成26年度星野富弘の詩画と 詩画公募入賞作品展」	星野富弘美術館
3	1	日	スポーツ・文化奨励賞交付式	町民総合センター
	21	土(祝)	町民講座閉講式	社会教育センター
	平日		平成生き生き大学閉校式	各地区ごと

*問い合わせ先
 生涯学習課
 ☎(87)1171

※日程は変更になることがあります。

芦北警察署

☎(82)3110



熊本県警メール・情報提供サービス

ゆっぴー安心メール

子どもたちの安全確保や地域の犯罪防止を図るため、県内で発生した

- ・声掛け事案、不審者情報など、子どもや女性に対する犯罪の前兆事案
- ・子ども・女性対象の連れ去り、通り魔、わいせつ犯罪などの事件情報
- ・防犯パトロールなどに有益な情報

などを会員登録された人の携帯電話やパソコンに配信します。

●登録方法

- ①携帯電話やパソコンでk110@ansin.police.pref.kumamo.jpに空メールを送信
- ②自動送信される返信メールに添付されたURLをクリック
- ③会員情報、受信を希望する情報の選択



シルバー見守りネット

高齢者などの行方不明手配や、交通安全・犯罪被害防止などの情報をメールで配信します。

●登録方法

- ①携帯電話やパソコンでnet110@ansin.police.pref.kumamo.jpに空メールを送信
- ②自動送信される返信メールに添付されたURLをクリック
- ③登録画面で受信を希望する情報の選択

犯罪マップ情報提供

熊本県警ホームページの犯罪マップを使い、身近で発生した犯罪を地図にポイント表示したり、件数ごとに色分けした分布図として表示したりするシステムです（地図は印刷可能）。

●特徴

- ・犯罪発生場所を具体的に提供
- ・小学校区単位で罪種、発生年月を選択して犯罪分布図を表示することができま。

芦北消防署

☎(82)4731



地震発生！そのときどうする!?

東日本大震災から3年以上の月日が経過し、防災に対する意識が薄れかけてきてはいませんか？地震が発生した場合、何よりも自分の命を守ることを、けがをしないことが大切です。もしも、地震が起きたときは、次のことに気を付けて行動しましょう。

地震発生時の行動

- まずは身の安全確保!**
揺れを感じたり緊急地震速報を受けたときは、身の安全を最優先に行動する。
・丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れが収まるまで様子を見る。
- 地震直後の行動**
●**落ち着いて火の元確認**
●**出口を確保**
揺れが収まってから火の元を確認し、避難ができるよう窓や戸を開け出口を確保する。
- 火災や津波、確かな避難**
地域に大規模な火災の危険が迫り、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。
・沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。
- 正しい情報、確かな行動**
ラジオやテレビ、役場、消防署などから正しい情報を得る。
- 確かめ合う！わが家の安全隣の安否**
・わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。
●**避難の前に安全確認、電気、ガス**
・避難が必要ときには、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めて避難する。

自動車税は6月2日(月)までに納付してください

納税通知書を5月初めにお送りします。納期限の6月2日(月)までに最寄りの金融機関やコンビニエンスストア、熊本県の各広域本部、各地域振興局、自動車税事務所で忘れずにお納めください。
なお、環境への負荷が少ない自動車(新車)は登録の翌年度の自動車税が軽減され、一定年数を経過した環境負荷の大きい自動車は自動車税が加算されます。

- ◆平成26年度に自動車税が加算(10%)される自動車
- ガソリン・LPG車:平成13年3月31日以前に新車新規登録された自動車
- ディーゼル車:平成15年3月31日以前に新車新規登録された自動車
- *問い合わせ先
熊本県 県南広域本部 収税課
☎0965(33)2184



平成26年度 町職員人事異動(4月1日付け)

【課長級】

- ▼総務課長 早川純一(税務課長)
- ▼総務課 審議員 佐藤昌彦(熊本県警察本部)
- ▼税務課長 江上繁(上下水道課長)
- ▼商工観光課長 園川民夫
(会計管理者兼会計室長(課長))
- ▼会計管理者兼会計室長(課長) 一丸喜八郎
(社会福祉協議会事務局局長(課長))
- ▼建設課長 山元信作(商工観光課長)
- ▼上下水道課長 坂口俊司(建設課長補佐)
- ▼社会福祉協議会事務局局長(課長) 長船正純
(企画財政課課長補佐)

【課長補佐級】

- ▼総務課 主幹兼総務係長 池田康浩(総務係長)
- ▼田浦基幹支所 主幹 元山俊治(税務課主幹兼収納係長)
- ▼企画財政課 課長補佐 福井成昭(福祉課長補佐)、主幹兼まちづくり推進係長 志水哲治(まちづくり推進係長)
- ▼税務課 主幹兼収納係長 鎌畑良一(福祉課障害者福祉係長)
- ▼住民生活課 健康づくり推進室長(課長補佐) 藤井優一(生涯学習課社会教育センター) 所長兼公民館分館長(課長補佐)、健康づくり推進室 主幹兼医療年金係長 田中公広(健康づくり推進室医療年金係長)
- ▼福祉課 課長補佐 川尾敏浩(住民生活課健康づくり推進室長)、主幹兼障害者福祉係長 内田照也(総務課防災交通係長)
- ▼議会事務局 次長(課長補佐) 福田貴

※()内は前職

【係長級】

- ▼総務課 監理係長 宮尾周二郎(教育課学校教育係(参事)、防災交通係長 田代忍(住民生活課環境対策係長)、吉尾出張所長 岩間千代美(福祉課障害者福祉係(参事))
- ▼住民生活課 環境対策係長 宮島誠一(税務課地籍調査室地籍調査係長)
- ▼商工観光課 観光係長 富永光輝(上下水道課水道係長)
- ▼上下水道課 水道係長 早稻田孝也(商工観光課観光係長)
- ▼参事級
▼総務課 総務係 窪田めぐみ(会計室會計係)、文書法規係 檜前峰子(福祉課湯浦保育所保育士)
- ▼企画財政課 財政係 白本辰吾(総務課秘書広報係)
- ▼税務課 固定資産税係 山川茂夫(地籍調査室地籍調査係)、収納係 大浪和典(地

籍調査室地籍調査係

- ▼福祉課 児童家庭福祉係 森有(税務課固定資産税係)
- ▼建設課 計画係 田中清美(福祉課児童家庭福祉係)
- ▼教育課 学校教育係 城頭徳(税務課収納係)
- ▼社会福祉協議会事務局 立邊義広(住民生活課健康づくり推進室医療年金係)

【その他の職】

- ▼総務課 秘書広報係 橋口卓矢(企画財政課まちづくり推進係)
- ▼企画財政課 財政係 平井早苗(総務課総務係)、まちづくり推進係 松下祐樹(税務課収納係)、政策推進室政策推進係 鶴田裕之(熊本県派遣)
- ▼税務課 住民税係 上野雄也(農林水産課林務水産係)、固定資産税係 橋本武典(地籍調査室地籍調査係)、収納係 田中総一郎(建設課計画係)
- ▼住民生活課 健康づくり推進室医療年金係 堀口貴生(税務課住民税係)、橋本雄一郎(農林水産課農政係)、健康づくり推進室保健センター 山川望(総務課付)、健康づくり推進室吉尾温泉診療所 山下絹子(健康づくり推進室保健センター)、清掃センター 宮島智博(商工観光課温泉観光センター)
- ▼福祉課 児童家庭福祉係 横山宗二郎(企画財政課財政係)
- ▼商工観光課 商工係 山下大蔵(熊本県派遣)
- ▼会計室 会計係 谷口彩子(農林水産課農政係)

【新規採用】

- 上村尚平 農林水産課 農政係
- 松崎舞 福祉課 障害者福祉係
- 桑原慶伍 農林水産課 林務水産係
- 宮本直弥 上下水道課 下水道係
- 内山翔太 商工観光課 温泉観光センター

【退任】(熊本県警察本部へ復職)

長瀬健太郎(総務課審議員)

【3月31日付け退職】

- 吉田茂(総務課長)
- 山口純志(建設課長)
- 中田さゆり(吉尾出張所長)
- 田口和子
(住民生活課健康づくり推進室吉尾温泉診療所) 立森とし子
(住民生活課健康づくり推進室吉尾温泉診療所) 藤井幸子(福祉課湯浦保育所)

※地籍調査事業の終了により、税務課地籍調査室が廃止となりました。今後、地籍調査に関することは税務課固定資産税係(内線124・125)へお問い合わせください。



笠山の山頂で写真を撮る参加者

笠山にハイキング

江戸時代に肥後藩の馬牧場があった、熊本百名山の笠山（別称牧山：標高 567m）に登る笠山ハイキングツアーが3月21日に行われ、町内外から参加した約50人が山頂を目指しました。参加者は急斜面の登山道を息を弾ませながら登り、山頂に到着すると、眼下に広がる景色に歓声があがっていました。ツアーに備えて登山道を整備した赤松館保存会は、「皆さんに喜んでもらい手応えを感じた。また開催したい」と話していました。

芦高生がアマモを植え付け

芦北高校林業科の2年生が3月3日の午前2時ごろ、計石漁港付近でアマモの生育調査と苗の移植をしました。生徒たちは、アマモ場に生息していたイカやタコ、ナマコなどの記録写真を撮ったり、アマモの状態を確認したりしながら、アマモの苗を植え付けていました。芦北高校では、10年前から海のゆりかごと言われるアマモ場の復活を目指して活動を続けています。近年、同校が活動している計石漁港周辺でも、アマモの繁殖域が広がっています。



アマモを植え付ける芦校生

大岩地区が夢チャレ事業で表彰

大岩地区むらづくり協議会が「地域づくり夢チャレンジ推進事業県南広域本部長表彰」を受賞し3月24日、大岩公民館で寺島俊夫芦北地域振興局長から表彰状が授与されました。同協議会は、耕作放棄地で大豆や麦を栽培し、それを原料とした味噌を生産、販売する取り組みを行っています。渡邊一義会長は今回の受賞に「これを続けていくことが大事。地域の皆さんが参加していけるように話し合っていきたい」と話していました。



表彰された大岩地区むらづくり協議会の皆さん



卒業式で答辞を述べる古里亮憲さん

支援学校佐敷分教室で初の卒業式

熊本県立芦北支援学校高等部佐敷分教室で3月10日、開設して初めての卒業式が行われました。第1期生5人が保護者や教職員、在校生らが見守る中、3年間を過ごした学びやを巣立ちました。卒業生を代表し、古里亮憲（あきのり）さんが、両親や在校生、先生たちに対し「3年間を楽しく過ごすことができました。ありがとうございました」と答辞を述べました。



左から永石芦北地区金融機関防犯連絡会長、梅下警察署長、内田郵便局長、岩本局員、小嶋局員

湯浦郵便局に感謝状贈呈

湯浦郵便局で3月26日、振り込め詐欺被害の未然防止に対して、梅下雅豊芦北警察署長から内田伸一局長に感謝状が贈呈されました。これは3月20日、湯浦郵便局に訪れた高齢男性が現金の郵送手続きを申し出たため、対応した局員が、架空賞金配当名目の振り込め詐欺（特殊詐欺）を疑い、男性を説得するとともに芦北警察署に連絡し、振り込め詐欺を未然に防止したことによるものです。

平成25年中に県内では75件の振り込め詐欺被害が発生しています。

松原ヨシノさん 祝100歳

松原ヨシノさん（丸山）が3月19日に100歳の誕生日を迎え、町から長寿慶祝金が贈られました。松原さんは、目と耳がやや不自由ですが、介護サービスを受けることもなく、家族と一緒に自宅で過ごしています。松原さんは「こんなに長生きできるとは思ってもみませんでした。これからもよろしくお願いします」とはっきりとした口調で話していました。



100歳の誕生日を迎えた松原さんと家族の皆さん

閉校の大野中でお別れの会

3月いっぱい閉校となった大野中で3月27日、生徒や教職員によるお別れの会が開かれました。閉校に伴い転任や退職する全教職員が、「夢を実現してほしい」「大野中の誇りを持って頑張る」などと1人ずつあいさつしました。

教職員と生徒は、互いに花束を渡し、感謝と激励の気持ちを伝え合いました。その後、万感の思いを込めた校歌斉唱で大野中最後の学校行事が締めくくられました。



花束を渡し感謝の言葉を交わし合う生徒と教職員



閉講式後の発表会で3B体操を披露する受講生

町民講座で学んだ成果を披露

平成25年度芦北町町民講座閉講式が、3月21日に町社会教育センターで行われました。平成25年度は23講座に295人が受講しました。式の中で、華道教室の堀田佳代さん（本町）が「町民講座で学んだ花を生けることの素晴らしさとともに、人と人との出会いを大切に、自分自身を成長させ、自然の花の姿に寄り添いながら自分らしく花を生けていきたい」と受講生を代表して謝辞を述べました。閉講式の後には、受講生が講座で学んだ成果を披露しました。

芦北に残る文化遺産

35 和田巖足の墓

芦北町指定史跡
昭和53年1月30日指定

御立岬公園に向かう海沿いの道、田浦の「野坂の浦」歌碑を過ぎると右手に説明板が見えてきます。説明板の後ろの階段を少し上ると「和田巖足の墓」があります。

和田巖足は江戸時代後期の天明7年(1787)生まれの熊本藩士で、155年前の安政6年(1859)4月27日に佐敷で亡くなっています。文武両道で、若くして著名な国学者長瀬真幸のもとで国学(古事記や万葉集など古典の研究)を学びました。特に長歌(和歌の一種で、五七・五七・五七と3回以上くり返し、最後を五七七で終わる)を得意として多くの歌を残しています。

しかし、役人としてはかなり不遇な人生を送ったようです。文化13年(1816)に家督を相続し、熊本で公務にあたりましたが、文政5年(1822)に金銭紛失事件の訴訟で軽率な行動を責められて八代へ転勤となります。そして、嘉永2年(1849)、63歳の時に家庭内の不行届き・身勝手な行いありとの理由で、計石番所勤務を命じられ

ました。これは無実の罪だったようですが、弁明することなく芦北に来て、ついに亡くなるまで熊本へ帰ることはできませんでした。遺言により万葉集ゆかりの「野坂の浦」(※野坂の浦の場所は諸説あり)を望む現在地に葬られたと伝わります。和歌を愛した和田巖足に相応しい場所です。その後、墓石は明治末期に田浦町の富田氏により再建されたそうです。

最後に、和歌に詳しくなかった彼らしいエピソードがあります。八代勤務時に、万葉集に詠まれた「水鳥」が干拓によって陸地化してしまう計画が持ち上がったところ、巖足が歴史ある水鳥をそのままの形で残すよう進言し、受け入れられたのです。時代は下って、平成21年に水鳥は国指定名勝となりました。彼は、貴重な文化財を守ったということでも後世に名を残すことになったのです。



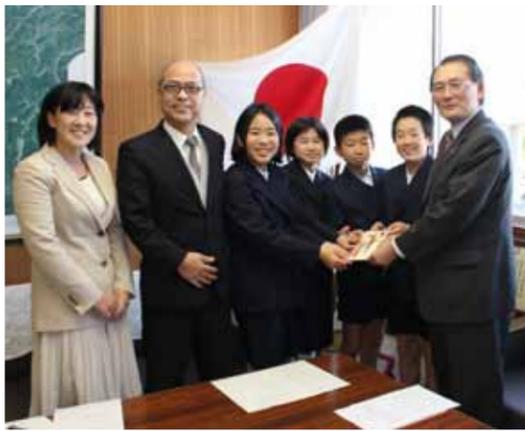
和田巖足の墓石

*問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎(87) 1171(内線145)

「カンボジアに学校を」 大野小が募金贈呈

カンボジア学校建設に役立ててほしいと、大野小児童4人と山川高久校長らが3月17日に役場を訪れ、町国際交流協会長の竹崎町長に募金を手渡しました。

大野小はこれまでのサラダタマネギと米作りに加え、今年は炭作りも行い、益金の24万1千円を募金しました。5年の宮下結名さんは「学校建設のために頑張りました。これからも5校目建設のためにみんなで頑張ります」と話してくれました。今回の募金でこれまでの大野小の募金総額は139万1千円となりました。



西日本国際財団アジア Kids大賞を受賞

大野小は平成17年から行ってきた国際貢献活動が評価され、アジアとの国際交流に貢献している九州・山口・沖縄地域の小中学校などが表彰される「第9回西日本国際財団アジアKids大賞」を受賞。3月5日に福岡市で授賞式が行われました。授賞式に出席した6年の塩永美咲さんは「授賞式後の報告会の後に他の参加者から『共感した』『心に響いた』などと声を掛けてもらってうれしかった。たくさんの人から支えていただけて活動でき、感謝しています」と話しました。



写真提供：大野小

景さんの 芦北チョアチョア記

(第23回)

芦北町国際交流員
李允景(イ・ユンギョン)

アンニョンハセヨ!
今月で芦北に来て丸3年になり、4年目を迎えることになりました。芦北に来てからいつも思いますが、時間が経つのは本当に早いですね。

韓国のソウル生まれで、ずっと首都圏の大都会で育ってきた私にとって、芦北町でのゆったりとした生活はとても新しい環境でした。韓国では、道路の渋滞に神経質になったり、お店のレジで前の人がもたついているとイライラしたりすることも多かったです。東京でも似たような経験があるので、これは、都会での「あるある」かもしれませんね。しかし、芦北での生活が心の余裕を持たせてくれたようで、今はそんなことも少なくなりました。

変わったところはこれだけではありません。初めての一人暮らしにもだいぶ慣れました。最初の頃は外食やコンビニの弁当ばかりでしたが、今は自然に慣れてお昼の

お弁当を作れるようになり、少しは成長したかなと思います。また、友だちと会ったとき、いつの間にか「芦北はね〜」と芦北町の自慢話をしている自分に驚いています。もうすっかり芦北っ子になった気分です。芦北出身の人から見ると「まだ早いよ!」と思われられるかもしれませんが、(笑)

時間が流れるにつれ、私のことに気付いてくださる人も多くなりました。「いつも広報の記事を読んでいるよ」と声をかけていただき、とても嬉しくて元気になります。いろいろな方々に応援いただき、4年目を迎えているところで、これからは「国際交流は難しいことではない」と感じてもらえるようなことに取り組んでいきたいと思えます。まだまだ未熟ですが、今年も芦北町国際交流員として頑張っていきます。よろしくお願ひします。



仕事中の景さん

すくすく育っています

1歳6カ月児健診(3月14日実施)を受けた人を掲載しています。

※「すくすく育っています」のコーナーは今月号で終了します。5月号からは、3歳までの子どもの写真を募集し掲載します。申し込み方法などは、3月号に掲載しています。



435人の消防団員が集結

芦北町消防点検



芦北町消防点検が3月16日、湯浦グラウンドで行われました。ラッパ隊を先頭に消防団員435人が芦北ボウル前から湯浦グラウンドまで堂々とパレード。その後、分列行進、規律競技を行いました。保育園児、幼稚園児の通常点検と放水も披露され会場を沸かせました。午後から行われた小型ポンプ操法競技では、各分団とも訓練の成果を発揮し、正確かつ迅速な操作を競いました。操法競技で2位までに入賞した分団は6月に予定されている郡大会に出場します。

【規律競技】

- 1位 機動分団
- 2位 第4分団
- 3位 第7分団

【操法競技】(小型ポンプ)

- 1位 第7分団
 - 2位 第8分団
 - 3位 第6分団
- 1 通常点検で観閲する竹崎町長 2 吉尾保育園幼年消防クラブによる放水
3 芦北幼稚園幼年消防クラブの通常点検 4 優勝した7分団の小型ポンプ操法

野口茂志消防団長が退任



野口茂志芦北町消防団長(米田)が3月31日付けで退任されました。野口団長は消防団に43年在籍し、合併前の旧芦北町時代から通算12年9カ月の間消防団長の重責を担いました。野口団長は「竹崎町長をはじめ皆様のご協力のおかげで団長としての職責を果たすことができました。消防団員の皆さんにおかれましては、町民の安全、安心を守るために健康に留意して頑張ってください」と話しました。

芦北町消防団長に就任した松崎政司さん(沖)



この度、芦北町消防団長を拝命し、大きな責任を感じております。野口前団長の後を引き継ぎ、町民の安全・安心を念頭に団員一同一層の団結を図り、さらに予防消防の活動に精一杯努めて参ります。

「芦北町漁協」が船出

田浦漁協と芦北漁協が合併し、4月1日、芦北町漁協が発足しました。合併後の本所となる計石の旧芦北漁協であった開所式には関係者約100人が出席し、新「芦北町漁協」の船出を祝いました。八里政夫代表理事組合長は「組合員の高齢化や後継者不足などで厳しい経営が続いている。合併で組織を強化していきたい」と話しました。

式の最後には大漁旗を使った除幕式が行われ、本所の建物の壁に大きく書かれた「芦北町漁協」の文字が披露されました。合併は統合による規模拡大と事業の合理化による経営基盤の安定などが目的で、昨年5月から合併協議を重ね、11月に正式決定しました。今後、町も新漁協を支援しながら漁業の振興が図られます。

村枝賢一さん町内で初めての原画展 まんが教室など交流イベントも開催

芦北町出身・在住の漫画家、村枝賢一さんの「里帰り原画展」が3月14日から4月3日まで、佐敷宿交流館榎屋でありました。主催は水俣芦北地域の地域づくり団体で構成される火の国みなぎた会議で、芦北町出身の村枝賢一さんを顕彰しようと開催されました。現在連載中の「妹先生」が「新仮面ライダースピリッツ」のほか、代表作の「俺たちのフィールド」などデビュー当時から現在に至るまでの複製原画約70点が展示されました。

3月15日には村枝さんと村枝さんの妻で漫画家の森真理さんによるまんが教室が榎屋で行われました。小学生から大人まで25人が参加し、キャラクターの描き方や4コマ漫画の書き方などを学びました。ツアー昼食に渚のカレーが登場

16日には「光路郎」と「妹先生」に登場する実在の場所を巡るツアーが行われ、遠くは東京や京都から約30人が参加しました。ツアーでは、村枝賢一さんが描いたヒーロー「ジエンド」や村枝さんの作品内にも登場する葦北鉄砲隊のサプライズ演出



▶ツアーでの一幕 ▶まんが教室の様子

もあり、参加者を楽しませました。登場シーンと実際の場所を見比べながら、同じアングルで写真を撮る参加者も見受けられました。榎屋の昼食には作品内にも出てくる村枝賢一さんの「渚のカレー」が登場し大満足の様子でした。



▶大漁旗を使った除幕式



▶出席者全員で記念撮影



▶榎屋に展示された原画と村枝賢一さん

子ども・子育て会議始まる

第1回芦北町子ども・子育て会議が3月24日に役場で開催されました。この会議は、平成27年にスタートする「子ども・子育て支援新制度」に向けて事業計画の策定や子育て支援に関する施策の推進を図るために設立され、子どもも保護者や学識経験者など14人の委員で構成されています。

初めての開催となる今回は、竹崎町長から委員に委嘱状が交付され、会長に中九州短期大学学務部長の川井健次さんが選任されました。

その後、新制度の概要や事業計画策定に向けてのスケジュールなどが話されました。今後も定期的に会議が開催され、計画や子育て支援などについて話し合われます。



▶第1回会議であいさつする竹崎町長



1

春の柔らかかな日差しに包まれた3月22日、23日に芦北町産業祭「デコボン祭り」がファーマーズマーケット「でこぼん」で開催されました。このイベントは、芦北町内の農業・林業・水産業などの第1次産業の振興を図るため、毎年この時期に行っています。会場では、デコボン釣り大会、サラたまちゃんの詰め放題、魚のつかみ捕りやアンパンマンショーなどのイベントがありました。農林産物や海産物、加工品などの販売コーナーも連日、子ども連れの家族など多くのお客さんでにぎわっていました。



3

4

芦北町の春の味覚が勢揃い 産業祭、グリーン農業フェアが開催



5

同日、道の駅たのうらでは「うら祭り」が開催されました。うら祭りは田浦の物産フェアとして毎年この時期に行っています。今回は、肥後うらら出荷協議会委員が取り組んでいる環境にやさしい農法で栽培されたくまもとグリーン農産物を多くの人に知っていただくため、「くまもとグリーン農業フェア」を初めて同時開催しました。このフェアでは、食農体験や試食ができ、多くの来場者が楽しんでいました。



6

1先着100人にデコボンとサラたまちゃんがプレゼント 2かんきつ類の品評会 3ステージ前にもたくさんの来場者 4魚をつかまえて大喜び 5初開催のグリーン農業フェア 6甘夏ピールづくり体験

編集後記

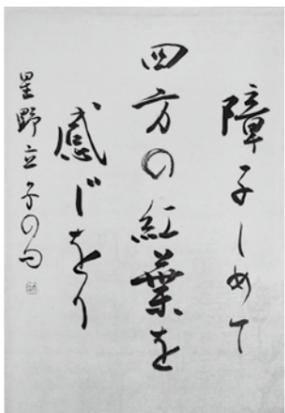
▼今年の桜は一気に咲いて散り始めるのも早かったように感じます。桜からこの一瞬を見逃すなど言われているようでもありませんが、ゆっくり眺める余裕がありませんでした。来年こそは町内の桜巡りをしようと思います。▼今月号が無事にお届けできるのが心配になりながら編集後記を書いています。今月は一部リニューアルしたので、もう少し頑張りたい部分はあるのですが、どうやら時間切れのようです。まずは誤字脱字などありませんように。(上野)

▼今月号でお知らせしていますとおり、「健康ファイル」が各世帯に配布されました。健康に関するさまざまな情報がつづられています。わたしもこのファイルを活用して、乱れに乱れた生活習慣を見直し、健康になりたいと思います。▼新年度がスタートしました。新生活がスタートした人もそつでない人も、心機一転、今年度も頑張りましょう！(かまち)

書道(かな)

【町民講座】

「紅葉」



桑田 功子

短歌

【芦北短歌会】

腰痛のわれを案じて娘より週に二回の惣菜とどく
バス席に一人坐りてひとときの私の時間娘に返信す
宮島 住子
暖かな陽射しまとしいし土手道の菜の花手折り春持ち帰る
農頭 圭子
背くらべするがに土手に勢揃い土筆は春の歌奏でいる
門寺 眞弓
米良 佑子
出番なき服の処分を始めた執着うすれゆくも清しと
宮嶋 良子

【田浦短歌会】

体躯より大きく見ゆる大太鼓叩く園児の無垢なるその手
満田 圭一
露霜のおりたる施設の狭庭にわれをいざなう佐助の花
石山 澄子
知らぬまに庭のあちこちほろほろと生れし木の芽は鳥の持ちきし
駒走 チミ
電車よりピヨピヨと降りてくる黄色い帽子の園児の群が
溝口 陵子
つぎつぎと去り逝く友よ待ち給えあなたもわたしもおない歳なる
竹本ナミエ

お誕生おめでとう

H26.3.1～3.31 受付分(敬称略) 受付件数 10件

氏名	誕生日	性別	保護者	区
樋口 明莉	2.20	女	大輔	湯浦北
千綿 菜々	2.21	女	祐策	湯浦北
松田 優杏	2.25	女	勇士	大野
桑田 蓮斗	2.28	男	久和	桑原
鬼塚 汐李	3.11	女	智光	花岡北
原口 楓士	3.13	男	洋宇	小田浦4
山内 咲空	3.15	女	隆雅	湯浦南
橋本 篤人	3.17	男	康博	向町
工木 ゆづほ	3.18	女	雅晴	花岡西
才保 零空	3.20	男	大地	天月

※本町窓口届け出た人で、承諾を得た人を掲載しています。町外に届け出た人で掲載を希望する場合は、役場総務課秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H26.3.1～3.31 受付分(敬称略) 受付件数 21件

氏名	死亡日	年齢	区
高島 朝子	3.3	85	湯浦北
村枝 幹治	3.3	73	新町
前田 實	3.4	94	米田
荒川 ハルエ	3.5	93	大野
田口 ヨシエ	3.7	92	湯浦南
藤井 俊子	3.7	81	平生
志水 幹雄	3.8	63	計石東
宮内 秀男	3.8	90	白岩
向志水 正晴	3.9	83	大尼田
山石 初夫	3.9	81	鶴木山
野田 ハルエ	3.9	96	小田浦6
濱田 敏光	3.11	71	田浦町3
岩本 鹿之芳	3.15	81	岩屋川内
坂井 カノ	3.19	95	市野瀬
宮崎 政春	3.20	80	田浦4
塚本 スエ子	3.23	87	井牟田2
立村 アキ子	3.25	78	立川
永野 輝昭	3.27	69	田浦町1

※本町窓口届け出た人で、承諾を得た人を掲載しています。



町営湯浦温泉センターがオープン

老朽化に伴い建て替え工事が行われていた町営湯浦温泉センターが完成し、3月22日に落成式が行われました。式のオープニングでは湯の香太鼓が新曲を披露し完成に華を添えました。式後は来賓や関係者がテープカットで落成を祝いました。

新しい温泉センターは、木造平屋建てで、これまでよりも広い浴槽が設置されました。建物の内外にふんだんに木材が使われ、木の香りが漂う温かみのある温泉施設に生まれ変わりました。

料金は建て替え前と同額で大人170円、6歳以上12歳未満120円、6歳未満60円です。



▲広い浴槽が設置された浴室



▲オープン第1号の入浴客

芦北町立星野富弘美術館だより

◇平成25年度

「星野富弘の詩画と詩画公募展入賞作」開催中

3月は大野小、内野小、湯浦小など、一般の団体客を含めて来館者が多い月となりました。その中でキラキラ輝く瞳で、星野作品や入賞作を真剣に見ている子どもたちの姿がとても印象的でした。美術館はゴールデンウィークも開館しています。ご家族でぜひお越しください。

- 期間 5月11日(日)まで
- 休館日 第2・4月曜日(祝日除く)
- 開館時間 午前9時～午後5時



▶「チューリップ」 1975年

*問い合わせ先

星野富弘美術館

☎ (86) 16000